

まちかど探検隊!!

☎22-0771

市役所秘書室
広報広聴係

羽咋と万葉集の関係学ぶ

羽咋小6年生67人が学習

4月18日、千里浜海岸そばの大伴家持の歌碑前で、羽咋小6年生67人が、羽咋と万葉集のつながりについて学習しました。

歌碑に刻まれた『之乎路から 直越え来れば 羽咋の海朝凪したり 船楫もがも』は、万葉集を編纂した大伴家持が748年の能登巡回の道中に羽咋を訪れた際に詠んだ歌です。

説明の中で、新元号『令和』の典拠が万葉集巻五の「梅花の歌32首序文」であることや、『波久比（はくい）』の文字を例にとって万葉仮名の成り立ちについても触れ、児童はところどころで驚きの声を上げていました。



大伴家持の歌碑の前で説明を聞く児童ら



心理テストを楽しむ大町の皆さん



はつらつ体操を行う柴垣町の皆さん

地域の通いの場として

市内では、住民が主体となって地域支え合いの活動が行われています。いつまでも元気でいられるように、通いの場へ参加してみてはいかがでしょうか。

大町お楽しみ会

4月19日、地域ささえ愛倶楽部 村友（大町）で、住民主体の地域支え合いの活動が行われました。

毎週金曜日に地区サロンの人や食生活改善推進員・ボランティア数人で活動しており、コーヒーブレイクから始まり、心理テストなどの頭の体操、アニメのテーマソングに合わせた体操などを行っています。

参加者のほとんどは歩いて会場まで来ており、毎週の活動を楽しみにしていると語ってくれました。

柴垣はつらつ体操

同23日、柴垣町会館でも同様の活動が実施されました。昨年5月から活動を始めようやく1年。介護予防サポーター2人が中心となり、毎月第2・4火曜日に開催しています。

はつらつ体操と棒体操の後に、DVDを見ながら懐かしい歌に合わせて体を動かしたり、時には万華鏡づくりなどの工作をしたりしています。

参加者は、月2回の体操の日を忘れないよう、お互い声を掛け合っていることや、一人ではなかなか体を動かさないので、開催日をとても楽しみにしていると話してくれました。